

共同声明文

ミャンマーの国民民主連盟（NLD）所属国会議員らを中心に構成する「連邦議会議員代表委員会（CRPH）」と、日本の超党派有志国会議員で構成する「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」は、2021年3月31日、オンラインで『ミャンマーの民主化に向けた国際会議』を開催した。その結果を踏まえ、本日、以下について合意し、今後、相互に連携・協力して、合意事項の実現に向けた活動を展開していくことを確認した：

記

1. 私たちは、ミャンマー国軍が2月1日に武力をもって軍事クーデターを引き起こし、その上、本来、市民を守るべき国軍兵士や警察官らが、反対の声を平和的に上げている市民に武力や暴力を行使し、虐殺/銃殺/撲殺/拘禁/拷問の限りを尽くして、多くの市民の尊い命を奪っていることに対し、最大級の怒りを込めて強く糾弾する。
2. 私たちは、日本政府及び国際社会に対し、ミャンマー国軍に対して取り得るあらゆる外交資源を使い、次に掲げる事項の速やかなる実現のため全力を尽くすことを強く要請する：
 - ① 即刻、市民に対する武力・暴力の行使を停止させること
 - ② アウン・サン・スー・チー国家最高顧問ら NLD 幹部や関係者、及び不当に拘束されている市民らを即時かつ無条件で解放させること
 - ③ 昨年11月の選挙で国民によって選ばれた民主体制へ速やかに全権を返還させること
3. 私たちは、日本政府及び国際社会に対し、ミャンマー国民/市民の自由と人権を蹂躪し、生命・財産を奪ったすべての軍人/軍属/警察関係者等の責任が追及され、法に基づいた厳正なる司法判断の下、処罰を受けることを強く求めていく。
4. 私たちは、日本政府に対し、国際社会とも連携しつつ、JICA、JBIC、JOINなどが関係する政府開発援助（ODA）や開発投融資などを含め、直接/間接を問わず、ミャンマー国軍を利する一切の支援や協力を直ちに中止/停止し、上記2の要求が完全に達成されるまでの間は、その再開を行わないことを強く求める。

5. 私たちは、日本政府及び国際社会に対し、「連邦議会議員代表委員会 (CRPH)」こそが選挙によって選ばれたミャンマー国民の正当なる代表であることを認知するとともに、チャー・モー・トゥン国連大使が引き続きミャンマーの正式な国連大使であることを支持し、その上で、上記の要求事項の実現に向けた正式な対話に着手することを求める。
6. 私たちは、日本政府及び国際社会に対し、連携・協力して、ミャンマー国軍の武力行使や弾圧の中で民主化のために声を上げ続けるミャンマー国民への支持・連帯を表明するとともに、十分な水や食糧、衛生用品などの生活必需品等の不足に対する緊急の人的支援を提供することを求める。
7. 私たちは、日本政府及び国際社会に対し、国軍/警察からの弾圧を逃れるために保護/庇護を求めるミャンマー国民に適切な保護/庇護を供与し、これらの方々が難民条約上の難民として日本国内への在留を求める場合には、速やかに在留資格を付与することを求める。

以 上

2021年3月31日

ミャンマーの民主化を支援する議員連盟
会 長 中川 正春

ミャンマー連邦議会議員代表委員会 (CRPH)
代 表 Daw Phyu Phyu Thin

【日本側出席者一同及び賛同議員】

中川正春、逢沢一郎、北村誠吾、近藤昭一、松原仁、笠浩史、広田一、末松義規、金子恵美、吉田統彦、小熊慎司、櫻井周、屋良朝博、阿久津幸彦、柿沢未途、西村智奈美、岡本あき子、山川百合子

(以上衆議院議員)

石橋通宏、徳永エリ、谷合正明、野田国義、塩村あやか、三宅伸吾、井上哲士、音喜多駿、柳ヶ瀬裕文、田村まみ、福島みずほ、小池晃、岸真紀子

(以上、参議院議員)

【CRPH 側出席者一同】

Daw Phyu Phyu Thin、